

政策提言で 町が動き出す



昨年11月29日、玉村町議会は町長、教育長に対して政策提言を提出しました。政策提言は今回で3回目となりますが、各常任委員会（総務経済・民生文教）で調査研究した事項の中から特に取り組むべき課題を絞り提言にまとめました。提言書の詳細は町議会ホームページをご覧ください。

総務経済分野

①空き家対策の充実について

提言

1. 地域と連携した空き家の情報収集に取り組み、実態把握に努めること。
2. 空き家相談窓口を明確化するとともに、空き家に対する情報提供や意識啓発に積極的に取り組むこと。
3. 空き家除去のための助成制度を構築すること。
4. 空き家バンク事業を実施し、利活用を推進すること。

②水道事業の健全経営について

提言

1. 人口減少等を考慮した適正規模の施設の改修・更新に努めること。
2. 財源確保のための料金改定については急激な値上げにならないよう努めるとともに、住民に対して周知広報などにより十分な説明を行うこと。

民生文教分野

①子供の発達支援の充実について

提言

1. 子供の発達支援について、福祉部門と教育部門が一体となった組織の設置も視野に両部門がより連携することで、児童の発達面や行動面・学校生活面について、幼児期から就学・進学を経る成長過程で、一体的で途切れることのない相談・支援体制の整備に努めること。
また、子供の発達について不安を抱える保護者にとっては、わかりやすく相談しやすい体制であることが重要なため、相談窓口を一本化するなど、支援を必要としている町民が容易に相談できる体制の整備に努めること。

②教員の負担軽減について

提言

1. 業務の効率化を図るため、校務支援システムの充実などの環境整備を推進すること。
2. 国・県の補助に関わらず、部活動指導員など必要な人的配置に努めること。